

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	現代社会	2	高校2年1～11組

使用教科書	副教材
『高等学校改訂版現代社会』(第一学習社)	『政治・経済資料』とうほう 『テオリア 最新倫理資料集』第一学習社

1. 学習の目標

人間尊重と科学的な精神に基づいて、広い視野に立って、社会と人間についての理解を、先哲の考えを通じて深めさせ、現代社会の基本的な問題点と自らのあり方生き方について主体的に考察するとともに、政治学の基本を通じて、現代社会の諸問題について考える力の基礎を養い、良識ある公民としての能力と態度を育てる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に課題に取り組む	課題を見出し、人間としてのあり方・生き方について、広い視野に立って多面的・多角的に考察する。	教科書・資料集のほかに様々な資料を主体的に選択し活用して、学び方を身につける。	人間としてのあり方生き方を、先哲の考えを学ぶことによって身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	日本の伝統的な考え方	・古代日本思想の重層性や感覚的な倫理基準、清き明き心の重視などを学び、現代の日本人の考え方の原型となる思想を理解する。	定期試験 授業態度による
	5	民主政治における個人と国家	・鎮護国家の教えとして伝えられた体系的な仏教が、やがて鎌倉時代以降、誰にでも修行しうる信や行に純粹化した日本仏教へと変容を遂げて民衆に広まっていったことを説明する。	
	6		・江戸時代には、哲学的な特色を持つ朱子学が奨励され、天地万物に通じる理のあり方が追究されたことを説明する。	
	7 9		・江戸時代には、一方で朱子学に反発する日本的な儒学が盛んになったこと、日本の古典を研究して、仏教や儒教の影響を受けない独自の日本人のあり方を求める国学が盛んになり、こうした流れが幕末以降の変革期に大きな役割を果たしたことを理解させる。	
10	11	・「政治」や「経済」という言葉は、ニュースや新聞などでよく耳にする言葉ではあるが、それらの言葉がどういう言葉から生まれ、どのように使われるようになったのかを学ぶ。 ・国家の概念や民主政治の誕生に関して、歴史的な背景を概観しながら紹介し、理解する。 ・民主政治のもとになる社会契約説を唱えた啓蒙思想家のホッブズ、ロック、ルソーを紹介し、その理念の内容と差異について理解する。		
12	基本的人権の保障と法の支配	・法の支配という概念の形成過程を、歴史的背景をふまえながら概観し、近代国家誕生の礎となったことを理解する。 ・基本的人権の歴史的な発展について、社会的背景をふまえながら概観する。 ・現代の政治においては、政党だけではなく多くの集団が政治に参加している多元主義が見られ、政策決定をめぐる様々な競争や調整や妥協が見られることを理解する。 ・近代国家においては、国家権力の専制を防ぎ、国民の権利を守るために憲法を制定して政治を行うことを理解させる。		
		日本国憲法の基本原理	・わが国においては、近代国家の体裁をととのえる為に大日本帝国憲法が制定された。その内容について理解する。	

2	1	平和主義と安全保障	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の制定過程について、歴史的背景をふまえながら概観し、その基本原理について学ぶ。 ・明治憲法と日本国憲法の差異について俯瞰する。 ・かつての大戦によって引き起こした行為の反省のうえにたつて、全世界の国民が憲法の前文で平和的生存権を有することを確認したことを理解し、憲法第9条の規定に反映されていることを学ぶ。 ・平和主義は、日本の非軍事化、民主化などのアメリカによる対日占領政策のあらわれであることを理解する。 ・冷戦構造の発生に伴って、日本の安全保障体制にも変化が迫られ、日米安全保障条約の締結や、自衛隊の創設などにつながっていくことを理解する。 ・激動する国際社会の影響を受けて、安保体制の変容と自衛隊の海外派遣が拡大したことを理解する。 ・日本の安全保障体制が変化することに伴って、様々な面においての議論が起こったことを学ぶ。 	定期試験 授業態度による
		国民主権と議会制民主主義	<ul style="list-style-type: none"> ・国会の地位や権限について学習し、国会の役割について理解を深めさせる。 ・衆議院の優越と参議院の意義について理解させる。 ・国会の課題について知り、その改革の方向性について理解させる。 	
3	2	内閣と行政の民主化	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣の構成と権限を確認しながら、内閣の仕事内容が拡大してきた歴史を確認する。 ・多くの行政機関によって、行政サービスが行われていることを確認し、現在の日本が福祉国家となっていることを理解させる。 	
		裁判所と人権保障	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を守るために裁判所に認められている機能・権限とは何かを学ぶ。 ・検察機構のしくみを学び、検察制度の原則を例外を把握させる。 ・再審制度について学び、人権を守るしくみについて関心を持たせる。 ・裁判所がもつ違憲立法審査権を取り上げ、憲法の番人としてのあり方を追究させる。 ・司法制度改革によって始まった裁判員制度や法テラスなどの仕組みについて理解を深めさせる。 	
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。